

平成21年度法人内研修予定

日程	研修名	研修対象者 / 予定会場	研修項目	研修内容
4/ 1～ 4/ 4	新人スタッフ研修	新卒採用職員 会場 :ふるりの丘総合福祉館	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・法人の沿革 ・職員の心構えと自覚 ・法人の理念及び方針 ・諸規程の説明 ・権利擁護 ・介護保険制度の概要 ・権利擁護 ・認知症について ・会議と研修 ・高齢者の疾病と医療行為 ・施設内感染症の理解 ・緊急時の対応 ・普通救命の知識・技術 ・防災に関する理解 ・生活の流れに沿うケア ・栄養ケアマネジメント ・リスクマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修概要説明 ・職員倫理 ・法人の理念・方針・事業計画・地域貢献 ・就業規則等の説明 ・高齢者虐待防止法・身体拘束廃止・公益通報者保護法、苦情・相談 ・介護保険制度の仕組み・サービスについて・介護サービス情報の公表 ・成年後見制度・個人情報保護法 ・認知症の医学的知識・認知症のケア・日常生活支援の方法・サポーター養成講座・社会資源の活用 ・会議の意義と目的・OJT、OFF-JT、SDS ・高齢者に多い疾病・疾病の特徴・便秘と脱水 ・感染症の種類・感染症予防・感染症の対応 ・緊急時の対応マニュアル ・普通救命講習受講 ・火災・地震・その他災害の知識 ・施設は暮らしの場・暮らしを作る・ユニットケアとは ・高齢者の栄養 ・リスク管理・ヒヤリハット報告・リスク回避
4/ 15～ 16 4/ 22～ 23	ユニットリーダー研修	ユニットリーダー 会場 :特養)みたらの杜	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念とユニットケアの意義 ・認知症と生活環境 ・高齢者の生活とその環境 ・ユニットケアの具体的方法 ・情報の活用と職員のサポート及び指導 ・計画書作成と発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の理念を理解し、理念を实践する上で、ユニットケアの考え方を学び、導入の意義を考える ・認知症の人に適切なケアを提供するために必要な専門的知識と技術について演習を通して学ぶ。 ・高齢者の生活を支える環境やその整備における留意点について ・朝・入浴のセクション、日中の過ごし方 ・ユニット内やユニット間の効率的な情報の伝達、職員間での情報の共有や活用方法について ・自施設における職員研修プログラムについて立案する ・ユニットケアを導入するにあたって、具体的な取り組みに繋がるよう 行動計画書を作成する

日程	研修名	研修対象者 / 予定会場	研修項目	研修内容
5/ 13~ 14	介護スタッフ資質向上研修	介護スタッフ (経験年数1年以上5年未満) 会場 :ぬく杜の郷・おおきし	・研修のねらい ・法人の理念と苦情に対する捉え方 ・認知症について ・接遇マナー ・記録 ・ケアマネジメント	・オリエンテーション ・法人の理念を理解し、その理念を実践する上での苦情に対する捉え方を学ぶ ・認知症の原因疾患とそれに伴う障害を理解する ・認知症の人に適切なケアを提供するために必要な専門的な知識・技術について演習を通して学ぶ ・接遇マナーについて理解する。 ・記録の取り方について基礎から理解する。 ・ケアマネジメントがなぜ必要なのか。どのように行うのかを学習する。
5/ 28	セクシャルハラスメント窓口担当者研修	各事業所窓口担当者 会場 :法人本部	・セクシャルハラスメントの理解 ・パワーハラスメントの理解	・セクシャルハラスメント、パワーハラスメントの内容を理解し、相談業務の手法や注意点を学ぶ
6/ 3~ 4	管理者・相談員合同研修	管理者・生活相談員・支援相談員 会場 :財田温泉高齢者ケア研修センター「財田の杜」	・研修のねらい ・相談員として求められる役割 ・リスク管理 ・リーダーシップ ・認知症について	・オリエンテーション ・利用者に質の高いサービスを提供するには、組織が円滑に機能する必要がある。ここでは、組織として法人運営に触れ、生活相談員に求められる責任遂行能力を高める。 ・施設におけるリスクを放置しておくこと事故やクレームに繋がる。ここでは、事故やクレームを未然に防ぐための方法について、各施設の実際の事例を検討することで考えを深める。また、未然に防ぐ方法を講義・演習を通して学ぶ ・介護職場で発生しがちな課題について事例を通し、課題解決へと導くスキルを身に付ける

6/ 10~ 11	介護スタッフ資質向上研修	<p>介護スタッフ (経験年数5年以上) 会場 :財田温泉高齢者ケア研修センター「財田の杜」</p>	<p>・研修のねらい ・リーダーシップを学ぶ ・介護職員に求められること</p> <p>・職種間連携の重要性とリーダーシップ</p> <p>・介護現場におけるリスクマネジメント</p> <p>・コミュニケーションの基本</p> <p>・認知症高齢者の医学的知識</p> <p>・認知症高齢者の心理的理解</p>	<p>・実技を通し、コミュニケーションとリーダーシップのあり方について学ぶ ・法人が求める介護職員像について理解するとともに、利用者本位のケア・尊厳を支えるケア等、質の高いケアを提供するための介護職の専門性を学ぶ。 ・利用者のより良い生活支援を実現するための職種間連携の重要性を理解するとともに、リーダーシップのあり方について学ぶ。 ・施設での事故防止のための体制作り等のリスクマネジメントの基本的考え方、効果的な実践方法、起こってしまった事故への対応方法について学ぶ。 ・対人援助の基礎として必要になるコミュニケーションの重要性を理解し、コミュニケーションの基礎的な技法とマナーについて学ぶ。 ・認知症という病気や症状について医学的な面から学習し、認知症が高齢者の生活に及ぼす影響等について学ぶ。 ・認知症によって高齢者の心理にどのような変化が生じ、それが生活面にどのような影響を与えるかを学び、心理面の理解を深め、高齢者に対する周囲の不適切な対応・不適切な環境が及ぼす心理面への影響の内容を学ぶ。</p>
7/ 13	<p>北欧式トランスファー研修会 研修担当 :第7委員会</p>	<p>管理者・リーダークラススタッフ (介護福祉士保有者) 会場 :特養)みたらの杜</p>	<p>講義 デンマークにおける高齢者介護と介護者の労働環境について 北欧式トランスファーテクニックの基本的な考え方について</p> <p>実技 電動ベッドや椅子・車椅子等を利用した実技演習</p>	<p>北欧デンマークでは、介護労働者の安全で健康な職場環境づくりの一環として、介護する人・される人どちらにもやさしい北欧式トランスファーテクニックが導入され、腰痛問題などが大幅に改善されてきています。 北欧式トランスファーテクニックを管理者はじめリーダークラスのスタッフが学び、介護現場で積極的に広め導入することで、つらい介護をやさしい介護へと変え、職場環境の改善をはかる。</p>

日程	研修名	研修対象者 / 予定会場	研修項目	研修内容
7/ 15・16	新人スタッフ・フォローアップ研修 研修担当施設 幸楽園	新人スタッフ研修受講者 会場：財田温泉高齢者ケア研修センター 財田の杜	・研修のねらい ・採用後を振り返って(演習) ・技術講習 ・問題解決について	採用からを振り返り、お互いの仕事を振り返る ・障害に合わせての基本的な介助方法の確認 身体介助の場面において、困難と感じている事例について検討 仕事の上での不安や悩み、要望についてどのように解決すべきか考える
7/ 21・22	施設長研修 研修担当施設 湘南	入所系施設の管理者 会場：財田温泉高齢者ケア研修センター 財田の杜	・介護保険制度の動向と課題 ・困難ケースの検討 ・管理者に求められること	介護保険制度の現状と今後の課題について学ぶ ・各施設の困難事例についてケース検討を行う 法人として求められる管理者像について学ぶ
8/ 10・11	介護支援専門員研修 研修担当施設 大滝の杜 クアリゾート453	介護支援専門員 会場：財田温泉高齢者ケア研修センター 財田の杜	・その人らしい支援のあり方について ・リスク管理 ・リーダーシップ ・認知症について	法人理念のその人らしいあたりまえの生活を保障するために介護支援専門員としての利用者への関わり方等について学習する。 施設におけるリスクを放置しておく事故やクレームに繋がる。ここでは、事故やクレームを未然に防ぐための方法について、各施設の実際の事例を検討することで考えを深める。また、未然に防ぐ方法を講義・演習を通して学ぶ ・介護職場で発生しがちな課題について事例を通し、課題解決へと導くスキルを身に付ける
9/ 8	医師・管理者・看護師合同研修 研修担当施設 湘南	医師・管理者・看護職員 会場：財田温泉高齢者ケア研修センター 財田の杜	・職種間連携 ・リスク管理 ・生活としての看護を考える	・介護職、相談員、介護支援専門員等の連携のあり方について考える ・医療現場でのリスクマネジメントについて学習する ・医療施設とは違う 生活の場での看護のあり方について考える
9/ 25・26	ユニットリーダー・フォローアップ研修 研修担当施設 みたらの杜	ユニットリーダー研修受講者 会場：財田温泉高齢者ケア研修センター 財田の杜	・研修のねらい ・法人理念とユニットケア ・運営計画書作成 ・入居者にとっての住まい ・入居者の暮らしに合わせたケアと24時間シートについて	法人の理念から導き出す具体的なケアについて 運営計画書に沿って自施設を振り返り、解決策を導き出す ・入居者の住まいとするための考え方を実に付け、実際のスライドを通して考える 個別ケアを実践するための24時間シートについて 24時間シートの意味と重要性 24時間シートの作り方

日程	研修名	研修対象者 / 予定会場	研修項目	研修内容
10/ 7~ 8	介護スタッフ資質向上研修 研修担当施設 研修担当 :第 7委員会	介護スタッフ (経験年数 1 年以上 5 年未満) 会場財田温泉高齢者ケア研修 センター「財田の杜」:	5 月 13・14 日の研修項目参照	5 月 13・14 日の研修内容参照
11/ 11~ 12	介護スタッフ資質向上研修 研修担当施設 研修担当 :第 7委員会	介護スタッフ (経験年数 5 年以上) 会場 :財田温泉高齢者ケア研修 センター「財田の杜」	6 月 10・11 日の研修項目参照	6 月 10・11 日の研修内容参照
12/ 1	非常勤ケアワーカースタッ プ研修 研修担当施設 <u>幸豊園</u>	非常勤ケアワーカー 会場 :財田温泉高齢者ケア研修 センター「財田の杜」	・法人の理念について ・認知症について ・介護技術の確認 ・高齢者の疾病と医行為について	・職員倫理 ・法人の理念・方針 ・認知症の人に適切なケアを提供するために必要な 専門的な知識・技術について演習を通して学ぶ ・専門的知識を学び自分の介護技術の確認とスキルアッ プを図る ・高齢者に多い疾病・疾病の特徴・便秘と脱水 ・感染症の種類・感染症予防・感染症の対応
1/ (2日間)	栄養士研修 研修担当施設 <u>幸生園/ふる里の丘</u>	入所施設栄養士 会場 :財田温泉高齢者ケア研修 センター「財田の杜」	・栄養ケアマネジメントについて ・高齢者の食事について ・職種間連携について	・栄養マネジメントについての職種間連携について考え る ・利用者にとって楽しみごとの一つである食事について、 の形態や提供方法について考える ・介護職、相談員、看護職、介護支援専門員等の連携の あり方について考える
未定	事務職員研修 研修担当 :本部	本部・各事業所の事務担当者 会場 :未定	・事務職員としてのマナーを学ぶ ・事務の効率化について	・事務職員として身につけなければならない電話対応、 来客対応等のマナーを学ぶ。 ・事務の効率化を図るためのポイント

日程	研修名	研修対象者 / 予定会場	研修項目	研修内容
未定	メンタルヘルス研修 研修担当 :本部	管理者・各事業所のメンタルヘルス推進担当者 会場 :洞爺の杜	・メンタルヘルス不調への気づきと対応 ・カウンセラー活用法 ・安心安全な職場環境について	・不調への気づき方、相談を受ける際の注意点を学ぶ。 ・カウンセラーの役割を理解し、連携方法について考える ・事業所における職場環境について考える

各資格試験対策講座

8～10月	ケアマネ試験対策講座	ケアマネ試験受験者	介護支援専門員試験内容	業務終了後の自主研修とする
11～1月	介護福祉士筆記試験対策講座	介護福祉士試験受験者	介護福祉士試験内容	業務終了後の自主研修とする
2月下旬	介護福祉士実技試験講習 研修担当施設 湘南	介護福祉士一次試験合格者 会場 :湘南	・実技演習	2週間を通して実技の演習を行う